

門真市立第五中学校区小学校 基本設計 概要書

株式会社 昭和設計

1.1 全景イメージ



南西から見た鳥瞰パース

1.1 外観イメージ

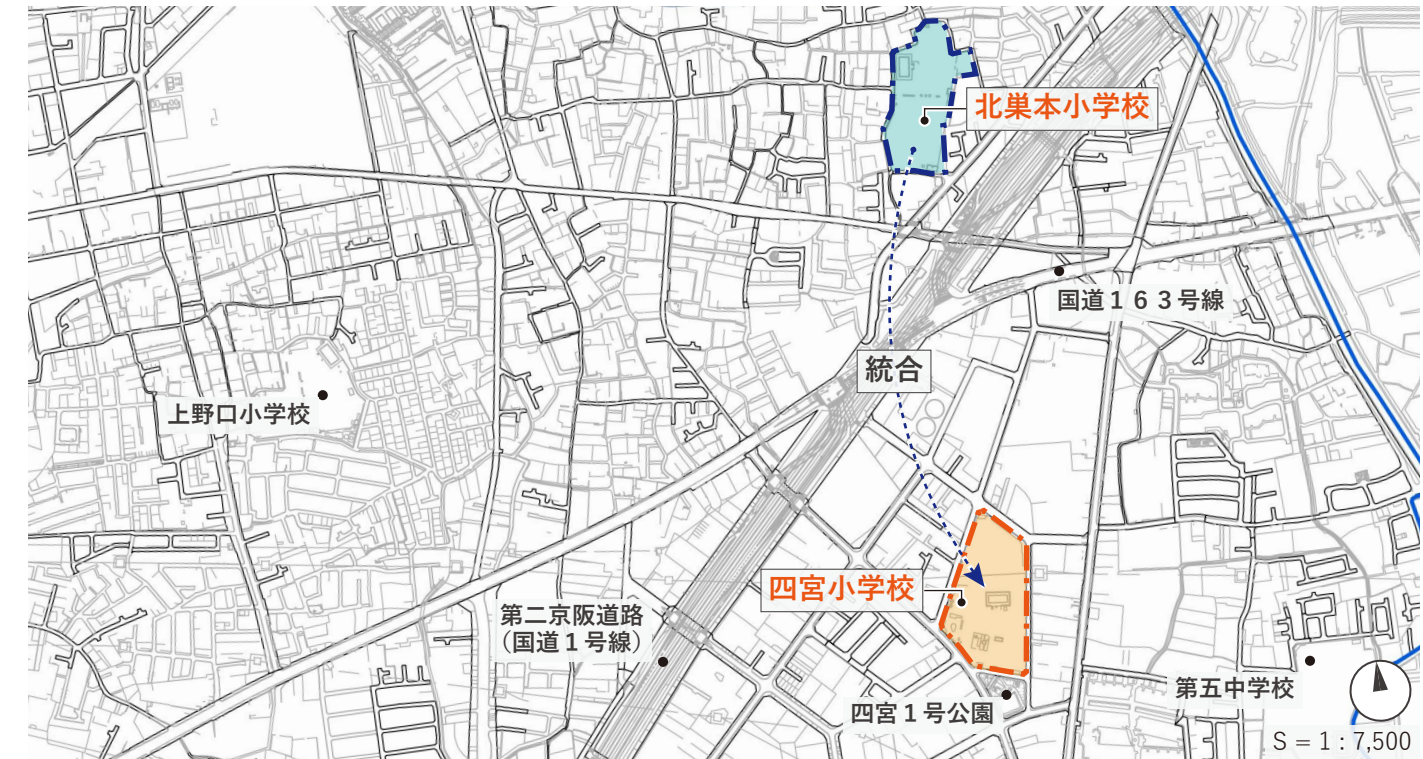


正門から見た外観パース

1.2 計画概要

■敷地概要	
地名地番	大阪府門真市四宮2丁目361番、362番、363番、364番、365番、366番、367番
住居表示	大阪府門真市四宮2丁目8-1
都市計画区域等	都市計画区域(市街化区域)
防火・準防火地域	準防火地域
その他の区域	—
道路	(北)四宮1号線 (東)四宮9号線 (南)四宮10号線(南西)四宮2号線 (西)四宮6号線
敷地面積	17,706.91㎡
用途地域	準工業地域
容積率	200% (別途緩和措置あり)
建ぺい率	60% (緩和後80%) 角地緩和・準防火地域に耐火建築物緩和
道路斜線	適用距離20m、勾配1.5
隣地斜線	立ち上り30m、勾配2.5
北側斜線	—
高度地区	—
日影規制	—
断熱性 (地域区分)	6地域
地表面粗度区分	III
基準風速	34m/s
積雪荷重	20cm以上
浸水予想高さ	浸水想定区域 (0.5m~3.0mの区域)
設計降雨量	165mm/h (大阪府 日最大10分間降水量の6倍=1時間)
騒音規制基準	準工業地域
	6:00~8:00 (60dB) /8:00~18:00 (65dB) /18:00~21:00 (60dB) /21:00~ 翌6:00 (55dB)
振動規制基準	準工業地域
	8:00~ 19:00 (65dB) /19:00~翌8:00 (60dB)
その他	CASBEE:あり

■敷地周辺概要図



門真市立第五中学校区小学校 基本設計

株式会社 昭和設計

■計画概要									
主要用途		小学校							
建築物の数		計 8 棟							
		新築							
		校舎棟	倉庫棟	駐輪場 (西)	駐輪場 (東 1)	駐輪場 (東 2)	東屋	ゴミ庫	受水槽
用途		小学校	倉庫・作業場	—	—	—	—	—	—
建築面積		4908.83 ㎡	198.4 ㎡	146 ㎡	42 ㎡	74 ㎡	16 ㎡	33 ㎡	40 ㎡
延べ面積									
	3 階	2486.78 ㎡	—	—	—	—	—		—
	2 階	4026.11 ㎡	—	—	—	—	—		—
	1 階	4177.80 ㎡	198.4 ㎡	—	—	—	—	33 ㎡	—
合計		10690.68 ㎡	198.4 ㎡	—	—	—	—	33 ㎡	—
敷地内延べ面積		10922.08 ㎡							
最高の高さ		16.60m	3.6m	3.0m	3.0m	3.0m	2.8m	2.5m	—
最高の軒の高さ		16.60m	3.6m	2.8m	2.8m	2.8m	2.8m	2.4m	—
構造・階数		鉄骨造(屋内運動 場:鉄筋コンクリ ート造) 地上 3 階建	鉄骨造 地上 1 階建て	—	—	—	—	—	—
耐火・準耐火建築物		耐火建築物	その他建築物	その他建 築物	その他建 築物	その他建 築物	その他建 築物	その他建 築物	その他建 築物
駐車場		来賓・学童保護者用・給食搬入用 3 台 (うち身体障害者用駐車 1 台) スクールバス待機スペース 3 台							
駐輪場		115 台							
その他		普通教室：1 学年 3 クラス× 6 学年=18 クラス 特別支援・通級教室・教育支援教室：1 0 クラス							

■敷地案内図



意匠

TITLE 図面名称

DATE 2025/7/1

SCALE

1:1000

NO

1

1.3 計画コンセプト

■基本コンセプト

つながり、進化する個性的な学校づくり

新しい時代に向けて個性と可能性に満ちた学校づくり

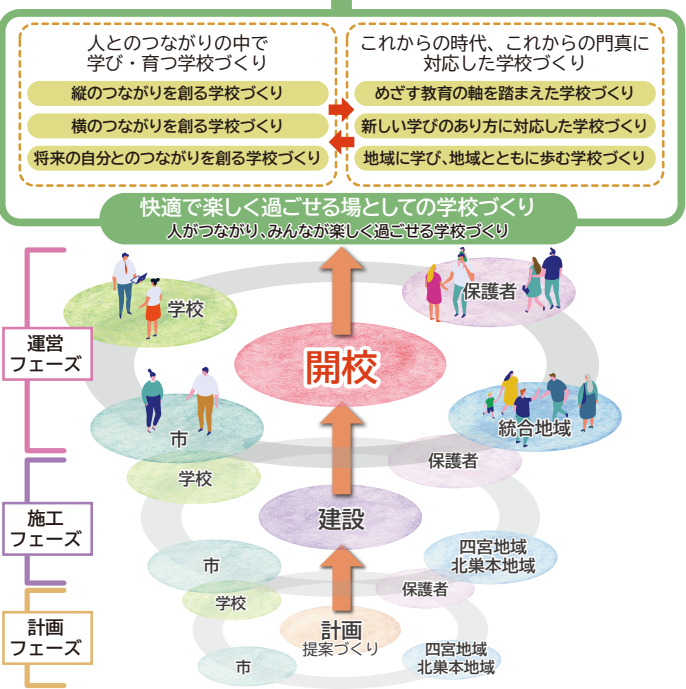
- ①「門真のめざす教育とこれからの学校づくり実施方針」、「四宮・北巢本小学校統合整備基本計画」の策定方法や意図・方向性を継承・発展させ、新しい時代を切り拓く学校づくりを目指します。
- ②門真の目指す「縦横将来のつながり」や新たな学びのスタイルの実現と地域特性・意向を掛け合わせることで、多様な可能性に満ちた個性豊かな特色ある学校づくりを目指します。
- ③縦横将来のつながりを生む計画が、同時に新たな学びを触発・受容する計画になるという両義性のある計画を進めます。
- ④子どもたちの新しい発見や興味・好奇心を触発し続けるよう、豊かでシークエンシャルで刺激的な環境づくりを目指します。

多様なヒト・モノ・コトがつながり、進化する学校づくり

- ①関係者の水平的関係を大切にし、[計画づくりと利用者の意向]、[学校と地域]、[地域(四宮)と地域(北巢本)]、[計画づくりと学校運営]、[計画と施工]を丁寧につなぎ、多面的で発展的な計画プロセスを実現します。
- ②「子ども×子ども」、「子ども×大人」、「大人×大人」が触れ合い、交わる場を多様に織り込み、イキイキ・ワクワクの学びと活動が展開される学校づくりを実現します。
- ③二つの小学校が一つになる過程を通して、地域の融合と一体化を図り、学校づくりと地域づくりが交差・連動することで、学校と地域が相乗的に進化するプロセスデザインを行います。

門真のめざすこれからの学校づくりにつなげます

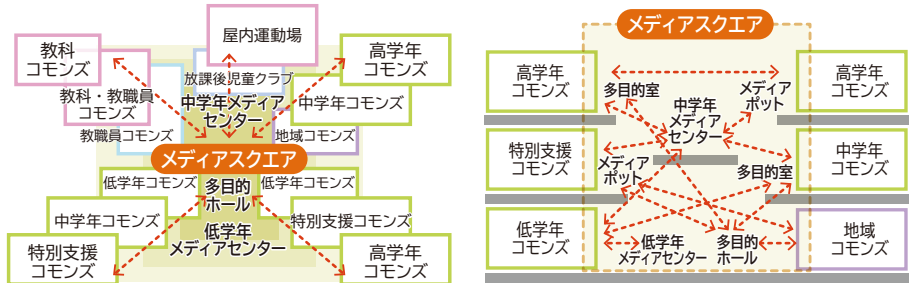
将来の自立をめざして自分の生き方を見つける教育



■施設コンセプト

1. 縦・横・将来の自分の3つのつながりを実現するパノラマ・プラン

学年・特別支援・特別教科・教職員・地域・屋内運動場の6つのコモンズで構成される開放的で相互に対面する「分棟型(島)」の配置と、吹抜け・セットバック・回遊動線・スキップフロアなどで構成された、分棟間をつなぎ多様な学び・活動・交流の場となる「メディアスクエア」の組み合わせによる「パノラマ・プラン」により、学校全体を一つに繋ぎ、縦・横・将来の自分のつながりを実現します。

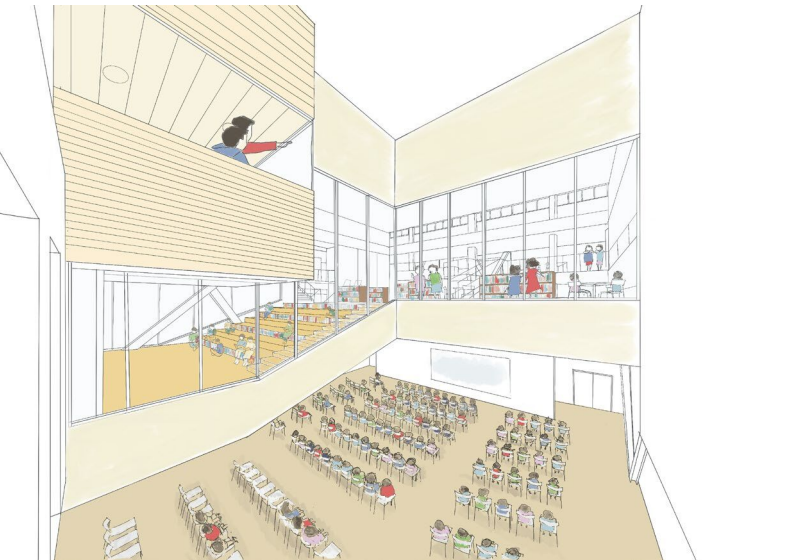


メディアスクエアに開かれた学年コモンズ

2. 学びの多様性・ワクワク感を触発するユビキタスなメディアネットワーク

普通教室を起点にオープンスペース⇄多目的室を含むメディアスクエア⇄教科メディアと特別教室の教科コモンズへ「多様な場とメディアのネットワーク」を形成し、学校全体が「いつでも・どこでも・だれでも・自由に」学び、過ごせるユビキタスな学習・生活環境をつくります。主体的な学びを触発するとともに、学びのスタイルの多様性、居場所の選択可能性を高める計画とし、学びの連鎖・展開を促すことで、異学年共同の活動を生起します。

メディアスクエアには、ライブラリー、メディアステップ(大階段)、多目的ホール、メディアポットを計画します。個人・グループ・クラス・学年・異学年・地域協働などの集団の中で、メディアを活用し、読む・聞く・調べる・話し合う・つくる・表現するなどの多様な学習方法を実践する場として、立体的につながり、多様な学びと活動の拠点とします。

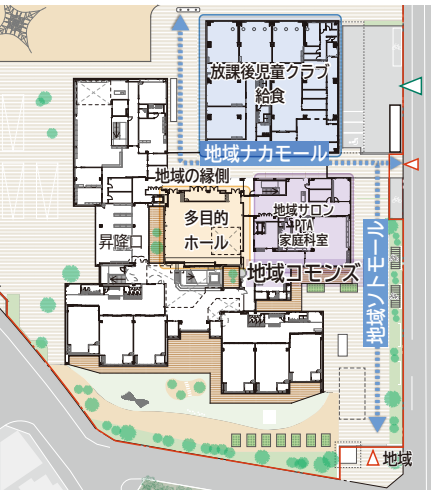


多様な学びの場となるメディアスクエア

3. 地域と学校をつなぐ「地域ナカモール」

地域との密なつながりをつくるために、地域の場と児童の場を視覚的・空間的な連続性の高い計画とします。屋内運動場と校舎間を貫通する地域ナカモールを地域の主動線とし、3層吹抜けのアトリウムとします。

地域ナカモール沿いには地域コモンズや地域の縁側などの地域活動の拠点や居場所を設け、メディアスクエアに開くことで、視認性を高め、新たな出会いを促す計画とします。



学校と地域がつながる地域ナカモール